

既構築機関からの 移行実験(つくばリポジトリ)

真中孝行 (筑波大学附属図書館 情報管理課)

tulips-r@tulips.tsukuba.ac.jp

内容

1. つくばリポジトリについて
2. 移行までの経緯
3. 移行の作業
4. 良かった点
5. 今後の予定

1. つくばリポジトリについて

1. つくばリポジトリ (電子図書館)

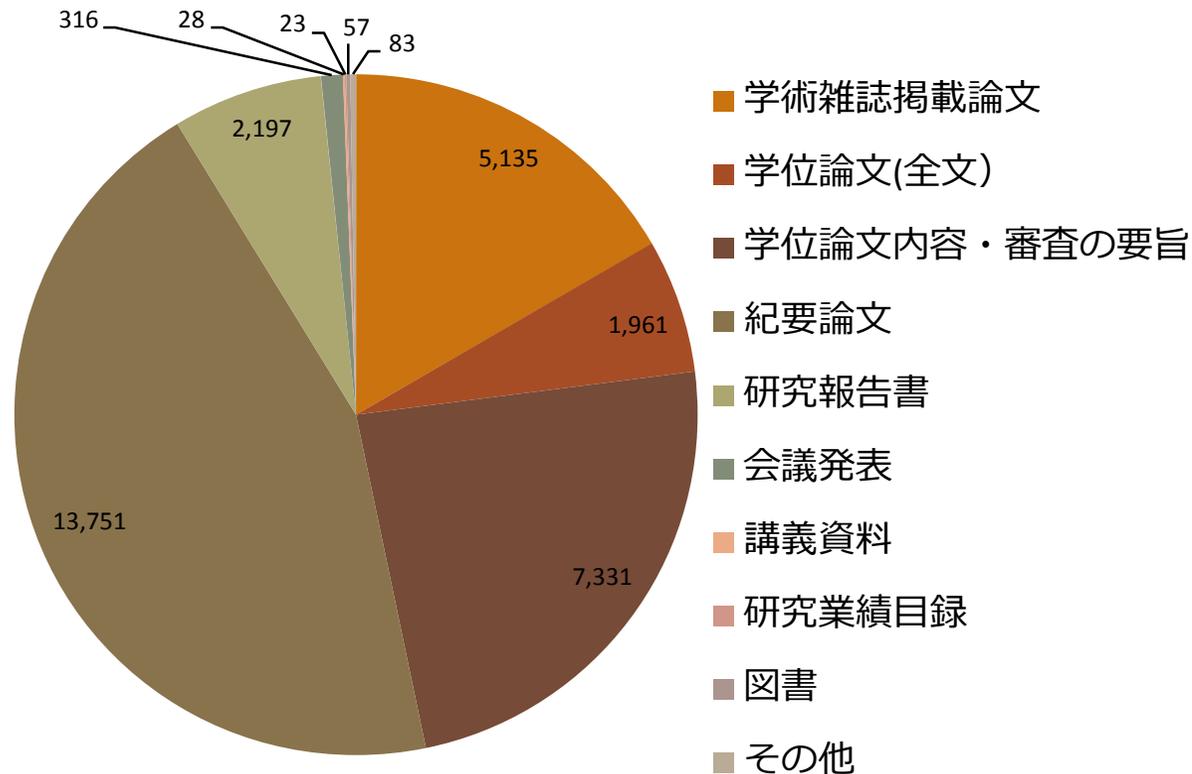
2. つくばリポジトリのコンテンツの種類と数

1. 1. つくばリポジトリ (電子図書館)

- 2006/3/23 公開
- リポジトリ以前 (1998/1) から続く電子図書館事業
 - 紀要, 学位論文などの文献を重点的に収集
- それに加えて学術雑誌掲載論文を収集
- Web of Scienceなどの学術論文データベースから研究成果をリストアップ



1.2. つくばリポジトリのコンテンツの種類と数



コンテンツ数

- 2014/5/16現在
30,882件

本文データサイズ

- リポジトリ17GB
- 電子図書館40GB

2. 移行までの経緯（1）

- JAIRO Cloud講習会参加（2013/1/10）
- 移行実験参加の打診（2013/2/20）
- 参加の回答（2013/3/13）
- オープンアクセスサミット2013で筑波大学の移行実験参加表明（2013/6/6）

2. 移行までの経緯（2）

□ JAIRO Cloudのメリット

1. サーバの管理・保守を任せられる
2. Webインターフェースによる画面・機能設定の自由度の高さ
3. リポジトリ関連機能の追加実装等への期待（著者IDやJuNii2対応等）

3. 移行の作業

1. 実作業前

2. 作業

3. 公開

4. つまづいた点

3.1. 実作業前（1）

- 打合せ（テレビ会議含め7月、8月で2回）
- JAIRO Cloudへ移行するなら以下が必要
 - コンテンツが載ること
 - Dspaceと同等以上の機能
- つくばリポジトリとJunii2のマッピング定義
ファイル等の確認

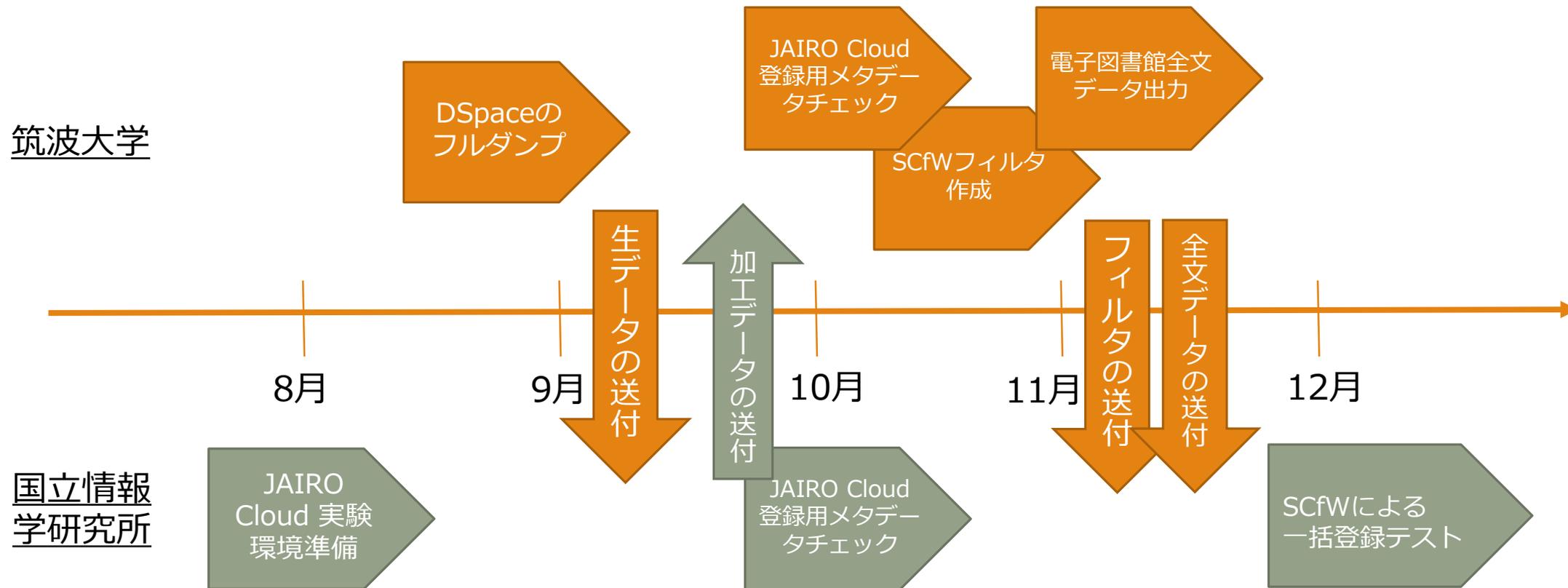
3.1. 実作業前（2）

- DSpaceと同等以上の機能は実装される？
 1. handle対応
 2. 統計メール送信
 3. 研究者情報システムとの連携（SWORD 2.0）

3.2. 作業 (2013)

	作業内容	作業月	筑波大学	国立情報学研究所
1	筑波大学用の実験環境準備	8月		●
2	DSpaceのデータベースのフルダンプ	9月	●	
3	ダンプデータをHDDにコピーしてNIIへ送付	9月	●	
4	JAIRO Cloud登録用メタデータ (TSV形式) チェック	10月	●	●
5	SCfW用フィルタをNIIへ送付	11月	●	
6	打合せ (テレビ会議Polycom)	11月	●	●
7	電子図書館の全文データをNIIへ送付	11月	●	
8	SCfWによる一括登録テスト	12月		●

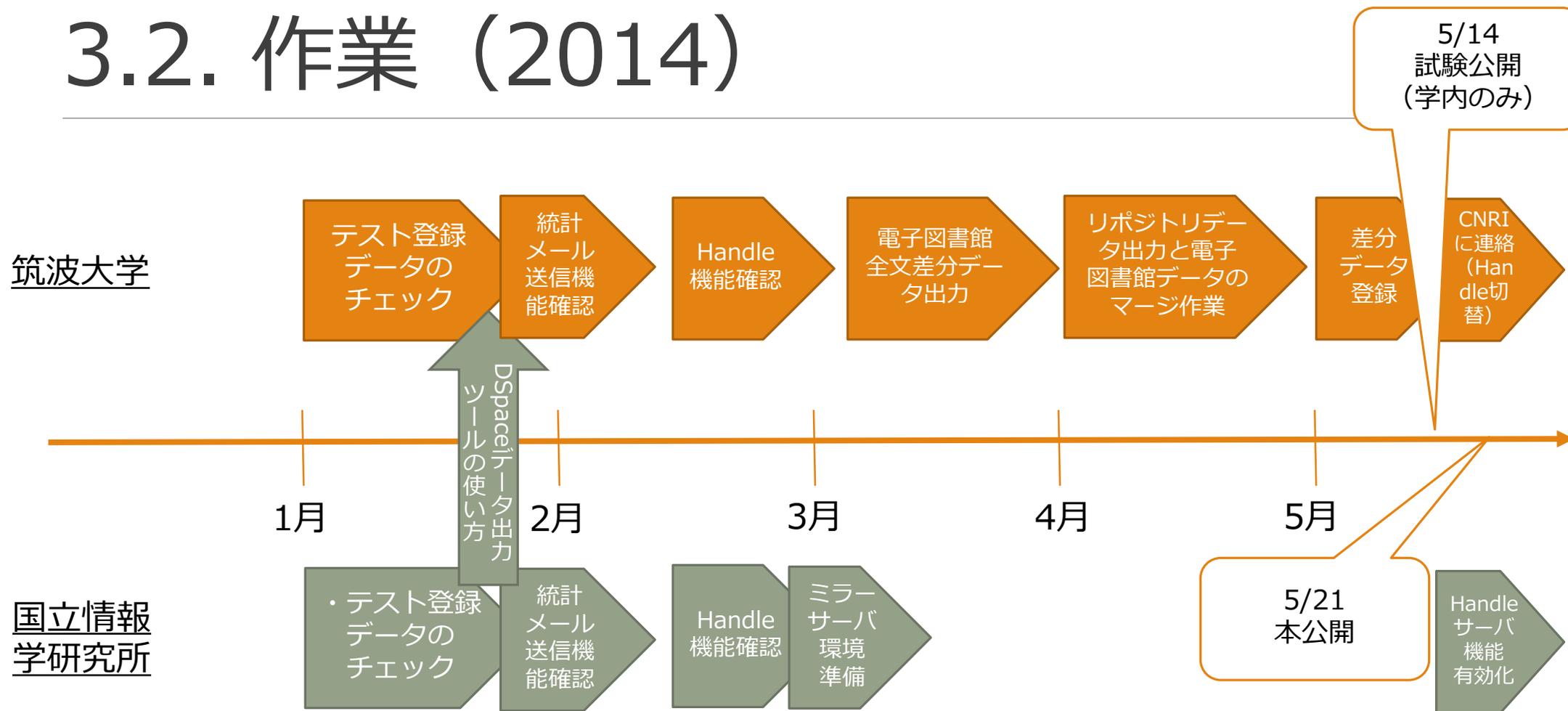
3.2. 作業 (2013)



3.2. 作業 (2014)

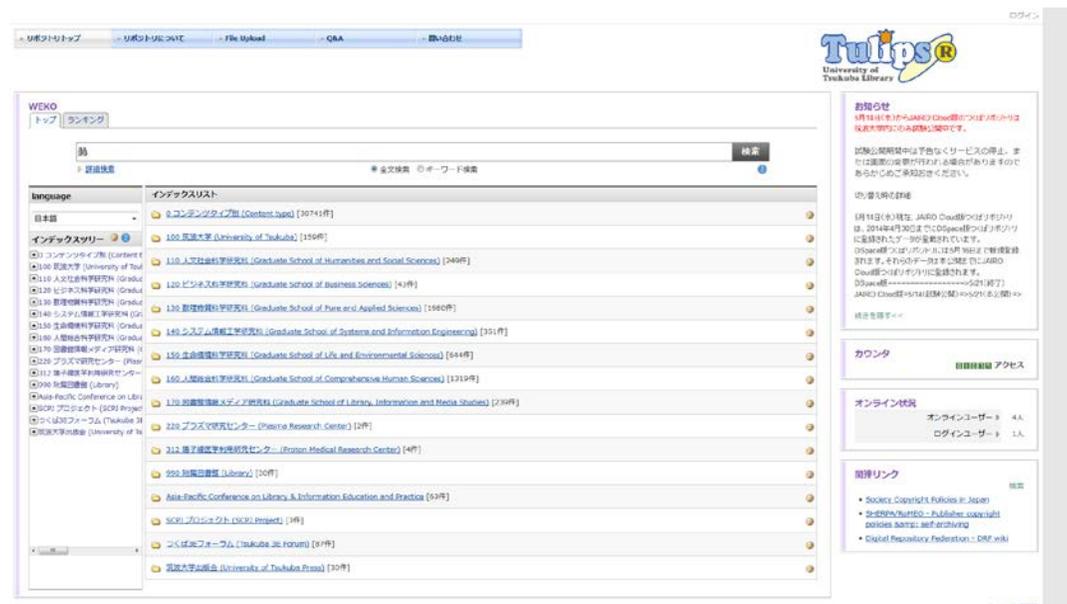
	作業内容	作業月	筑波大学	国立情報学研究所
1	登録データのチェック	1月	●	●
2	現有リポジトリからのデータ出カツールの説明	1月	●	●
3	統計メール送信機能確認	2月	●	●
4	Handle機能確認	3月	●	●
5	ミラーサーバ環境準備	3月		●

3.2. 作業 (2014)



3.3. 公開

	作業内容	作業月日
1	学長への説明	4月
2	共用リポジトリサービス利用申請	4月
3	差分データ登録（2013/9以降 2014/4/30分まで）	5月
4	試験公開	5月14日
5	差分データ登録（2014/5/1- 2014/5/16）	5月19日
6	本公開	5月21日



3.4. つまづいた点

1. 文字コード（一括登録ツールSCfWのオプション、本文のファイル名）
2. ファイルの登録順（一括登録時点）
3. コミュニティ・コレクションのパスの長さ制限
4. 登録済メタデータの一括修正
5. Handleの切り替え（DSpaceからJAIRO Cloud）

4. 良かった点

1. 登録したファイルやインデックスツリーの移動、並べ替えが簡単
2. 一括登録が簡単
3. ファイルの一時保存、オープンアクセス日の指定が簡単
4. 多様なExport形式（RSS、BibTeX等）が存在

5. 今後の予定

- 学位論文のjunii2 ver.3.1対応
- PDFカバーページの設定
- DSpaceのURLリダイレクト
- 紀要等の電子ジャーナル化
- 研究者データベースとの連携 (SWORD 2.0)
- 著者IDの入力

+ aの期待

- 動的にPDFカバーページが作成できるとうれしい。
- 登録済の（現データ）をダウンロードして一括修正できるとうれしい。
- ETD-MS形式でメタデータが出力できると、学位論文のデータがNDLTDに対応できてうれしい。
- 統計メール送信文面のカスタマイズができるようになるとうれしい。
- Altmetricsに対応してくれたらうれしい。